

# 人権のコミュニティづくり

-2011年度コミュニティづくり協働事業報告書-

## ハッピー77の ハフレッシュ講座

~明日のあなたと子どものために一緒に学びましょう~

家と、すてきな人生の先輩を迎え連続講座を行います。  
 夢について学び、自分の生き方を深め、豊かなこそだて  
 かけになることを願っています。

ジェネシスオブエンターテイメント  
**第7回 車いすダンス公演**  
 ~WILL~  
 2011年12月3日(土)・4日(日)

だれでも 決して変わらない 変えられない 過去を抱えてる  
 でも 今まで出会った たった一つが欠けても「今の私」はいなかった  
 みんな 誰にも代わることのできない道を進み続けている。  
 未来の世界に 未来の自分たちに 今 伝えたいこと  
 この「WILL」から、そんな未来へ踏み出す一歩が生み出せれば  
 本当に幸せに思います。

■主 催/ジェネシスオブエンターテイメント  
 ■協 賛/カ/サントロー労働組合すみよしおはなしパレット  
 (特定非営利活動法人映像記録(ビデオ撮影))  
 ■日 時/2011年12月3日(土) 開場:18:00 開演:18:30  
 4日(日) 開場:12:30 開演:13:00  
 ※それぞれ開場時間が異なります。ご確認の上ご来場ください。  
 ■会 場/大阪人権博物館(リパティおおさか)・リパティホール HP: <http://www.liberty.or.jp>  
 ■定 員/両日175名(先着順)  
 ※車いす用の席もございますのでチケット申し込みの際にお知らせください。  
 ※事前にチケットのお申込みができない場合にも、当日空席がある場合はご入場いただけます。  
 ■入場料/一 般:2,000円  
 障がいがある方とその介助者(1名のみ):各1500円

関西子ども文化協会  
 特定非営利活動法人(特定NPO)

# 不登校

「不登校」と「非行」  
 学校をとりまく環境と  
 子どもたちのことを考える  
 1日限りのフォーラム

財団法人大阪府人権協会

## ごあいさつ

被差別・社会的マイノリティに対する忌避意識や偏見の克服、差別の解消は大きな課題となっています。この解決のためには、被差別・社会的マイノリティ当事者や関係者と地域住民とが、地域における共通の課題を解決するために、ともに考え、ともに取り組むことによって、地域住民の間での関係づくりをすすめ、排除や孤立のない人権尊重のコミュニティづくりをめざすことが大切です。

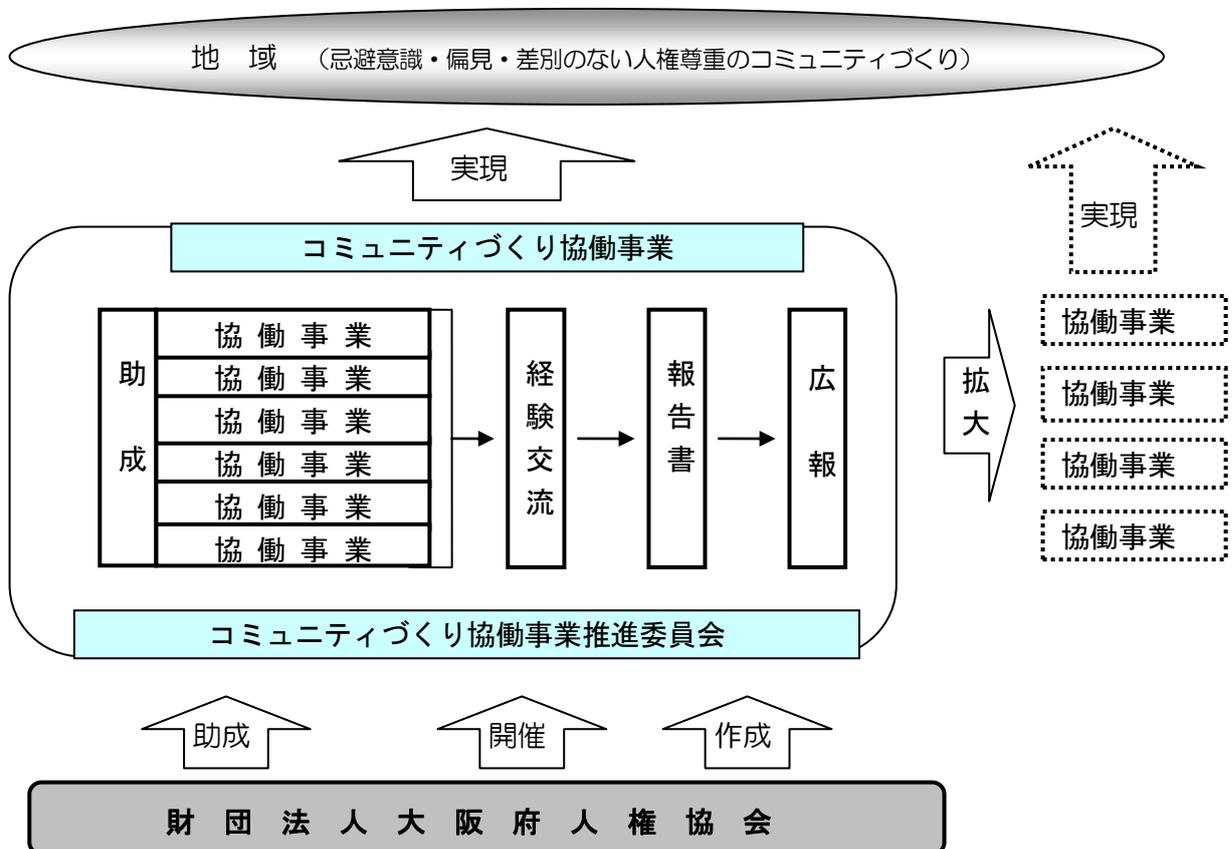
このような取り組みを進めるために、「コミュニティづくり協働事業助成金」を実施し、モデルとなる取り組みへの支援を行いました。今年度は、19事業の申し込みのうち、8事業を選考して助成を行いました。そして、このモデルとなる取り組みを『人権のコミュニティづくりー2011年度コミュニティづくり協働事業報告書一』として取りまとめました。このモデル事業は、2009年度から行い、今年度で最終年度となりました。

このモデルとなる協働の取り組みを参考に、人権のコミュニティづくりをめざした協働の取り組みが、様々な地域や団体で行われ、さらに広がることで、豊かな人権尊重のコミュニティが作られることを願っております。

2012年5月

財団法人大阪府人権協会  
理事長 村井 茂

## 事業の概要



## もくじ

1. 小学生向け人権講座・セクシュアリティ入門DVD製作 . . . . . 3  
新設Cチーム企画
2. 外国人も安心して医療・保健サービスが受けられる地域社会の創造事業 . . . . . 4  
みのお外国人医療サポートネット
3. ハンセン病問題啓発パンフレット検討報告書作成事業 . . . . . 6  
ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会・関西実行委員会
4. 子どもへの暴力防止プロジェクト . . . . . 9  
社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会
5. 障害者の芸術文化モデル構築の為の第7回車いすダンス公演事業 . . . . . 12  
ジェネシスオブエンターテイメント
6. 在日外国人家庭とつながろう「もろふく共育停留所」開設事業 . . . . . 15  
在日外国人家庭もろふく共育プロジェクト
7. 非行の子どもたちの社会参加のために～居場所の必要性和次への一歩事業～ . . . 20  
特定非営利活動法人関西こども文化協会
8. 児童養護施設で育つ子ども若者の交流および対話・エンパワメント事業 . . . . . 25  
Children's Views & Voices (CVV)

### 財団法人大阪府人権協会

〒552-0001

大阪市港区波除4-1-37 HRCビル (AIAI<sup>あいあい</sup>おおさか) 8階

TEL. 06-6581-8613 FAX. 06-6581-8614

<http://www.jinken-osaka.jp/> [info@jinken-osaka.jp](mailto:info@jinken-osaka.jp)

報告書に掲載している事業についてのお問い合わせは、上記までお願いします。

## 2011年度コミュニティづくり協働事業 活動報告

事業名	小学生向け人権講座・セクシュアリティ入門DVD製作
団体名	新設Cチーム企画



日時・期間	2011年5月1日から2012年3月31日
場所	大阪市
規模・人数	30人程度

**事業の目的と協働の形態**

LGBT（レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー）は差別されて当然のものとして扱われており、いじめや無理解によって人権を侵害され続けている。DVD教材を作成し、性別やLGBTについての適切な知識を提供することによって、いじめの子、いじめられる子を減らすことが目的である。LGBT当事者の出演者については、当事者団体に協力を要請した。小学生の出演者については、LGBTに理解のある小学校関係者の協力をもらい、市内小学校（中浜小学校）にて撮影した。

**実施内容**

5月：企画内容を完成させ、各方面への協力を要請し、当事者団体と市内の小学校の協力を得ることができた。6月：撮影に向けての準備を行った。特に出演の小学生の保護者の了解を得ることは協力頂いた先生方に大変お世話になった。7月：保護者や関係者に直接企画説明を行い、撮影を完了した。8月から11月までは撮影内容を精査し、教材として適切な部分を吟味するなど編集作業を行った。並行してアニメーションの制作も行った。12月：アニメーションのアフレコのため声優を募り録音を行った。1月：出演者生徒および保護者や学校関係者に向けて試写会を行った。出演者や試写した関係者からは、概ね好評を得ることができた。またDVDに付録する指導案や手引きの作成をはじめた。2月：各方面からの修正を受け付け、作品に反映させた。

また、作品に英語字幕を付けた。付録資料を完成させた。ジャケット、チラシのデザインを完成させた。3月：DVD等を発注し、各方面へ配布、宣伝をして事業を完成させた。DVDは合計1000枚を発注し、教育関係機関に付録資料と共に配布した。チラシを配布したり、インターネット上でも宣伝を行っている。

出演者のプライバシーに配慮してDVDの内容はインターネット上にアップロードすることは禁止しているが、付録資料についてはダウンロードできるようにしている。  
<http://www.occn.zaq.ne.jp/cuihd703/>

**成果と課題**

撮影で小学生と交流できたこと、その関係で保護者にも理解を得られたこと、そして継続的に先生および学校関係者と関係を持つことができたことで、折に触れてLGBTのことを考えてもらえたと思う。当事者だけでなく、こういった各方面とのつながりの中で教材制作ができたことはとても実りが大きかったと思う。今後DVDを活用してもらっての効果も期待したいが、制作の過程で得られた経験や関係性こそ貴重なものだった。これからは完成したDVD教材をどのように広めていくかが課題である。

お問い合わせ先：新設Cチーム企画 rupan4th@gmail.com

## 2011年度コミュニティづくり協働事業 活動報告

事業名	外国人も安心して医療・保健サービスが受けられる地域社会の創造事業
団体名	みのお外国人医療サポートネット

日時・期間	2011年 4月 1日 から 2012年 3月31日 まで																						
場 所	北摂地域ならびに大阪市を含む近隣市																						
規模・人数	ボランティアは34名。外国人からの病院等への同行依頼者はのべ150件																						
協働の形態	<p>箕面においてはさまざまな事例の相談や関係者への啓発などの目的のため、これまでも箕面市立病院、箕面市健康福祉部、豊能子ども急病センター、箕面市消防署、箕面市国際交流協会、箕面市人権文化部と定期的に協議の場を持ってきた（医療事務連絡会）。本助成を得て北摂およびその近隣市に活動範囲が広がり、今後更に箕面市のような内実を伴った連携が生まれてくると考えている。</p>																						
実施経過 及び 実施内容	<p>今年度も英語、中国語を含む7言語で対応し、依頼者が行きたい医療機関に同行してきた。また、箕面市立病院での常駐も週に2回行ってきた。本年は、助成を得て、箕面市を中心に行ってきた同行・通訳活動を近隣市や大阪市などに広げて考えてきた。以下は、今年度（2012年2月まで）の実績である。</p> <p style="text-align: center;"><b>★箕面市立病院常駐および病院同行活動状況</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 25%;">箕面市立病院常駐</th> <th style="width: 25%;">病院同行箕面市内</th> <th style="width: 35%;">病院同行箕面市外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2008年度</td> <td>36(1-3月)</td> <td>36</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2009年度</td> <td>99</td> <td>59</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>2010年度</td> <td>148</td> <td>65</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>2011年度(-2月)</td> <td>59</td> <td>73</td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記の表からもわかるように、今年度も箕面市外からの依頼が増えた。大阪市内からの依頼にもできる限り対応してきた。今後、活動が知られるにつれて、より活動範囲の広がりがでてくるものと思われる。</p> <p>今年度も毎月メンバーの研修会を行い、同行範囲の拡大に備えた。その甲斐あって、メンバーも充実し、安定している。本事業は単年度で完結する事業ではないが、今年度をきっかけとして、さらに持続可能な活動をめざしていきたい。</p> <p>次に、今年度も協働のとりくみとして、「外国人市民への保健・医療セミナー」を7者共催で実施した（3月3日）。病院関係者、箕面市職員をはじめ、豊中市、茨木市、池田市、吹田市などの近隣都市および、富田林市、大阪市、宝塚市などから55名の参加があった。外国人への医療サポートという課題を、ぜひ、それぞれの地域でも考えていきたいとの意向が伝えられた。</p>			年度	箕面市立病院常駐	病院同行箕面市内	病院同行箕面市外	2008年度	36(1-3月)	36	3	2009年度	99	59	23	2010年度	148	65	49	2011年度(-2月)	59	73	56
	年度	箕面市立病院常駐	病院同行箕面市内	病院同行箕面市外																			
	2008年度	36(1-3月)	36	3																			
	2009年度	99	59	23																			
	2010年度	148	65	49																			
2011年度(-2月)	59	73	56																				

<p>成果と課題</p>	<p>助成を受けたことにより、今年度は活動の見通しがつきやすくなった。以前は有料（1回500円）にしていたこともあったが、同行依頼が度重なる依頼者は負担を避けるため依頼しなくなる、ということがあった。ケアが必要な人ほどその傾向があった。その後、会で話し合い、依頼者からは無料とした。現在活動は箕面市医師会からの助成その他でなりたっているが、北摂以南でこのような活動があまりないため、依頼の問い合わせが来るようになった。困っている人がいればサポートしたいというのが会の趣旨であり、今年は可能な範囲でサポートを行った。</p> <p>本会の規模からいっても、どこからのどんな依頼にも応えられる態勢ではない。しかし、ケースバイケースでできるだけ必要なサポートをしていきたい。今年度助成をうけたことで、大阪市内などに活動範囲を広げることができた。</p> <p>課題としては、今後持続可能な活動の基盤をどうつくるのかということがある。本事業は単年度で何か大きな成果がでたり、結果がでるというものではなく、慎重に活動範囲を広げながら、対応できる組織力をわたしたちの会がつけていかなければならない。広範囲での活動のノウハウ、諸団体や個人との協働、会計基盤の確立などいろいろな課題が見えている。</p>
--------------	--

## 2011年度コミュニティづくり協働事業 活動報告

事業名	ハンセン病問題啓発パンフレット検討報告書作成事業	
団体名	ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会・関西実行委員会	
日時・期間	2011年1月1日～2012年3月31日	
場 所		
規模・人数	15名	
事業の目的と協働の形態	<p>当会は関西に在住するハンセン病療養所退所者、医師、マスコミ・出版関係者・宗教者・福祉関係者・弁護士等で構成されています。ハンセン病問題の啓発の目的は、ハンセン病回復者や家族に対する偏見差別の解消とともに、同種差別事件の再発防止にあります。何が偏見差別にあたるのかは、やはり偏見差別を受ける回復者ら側の視点でとらえる必要があるため、回復者らとの協働作業による近畿府県の啓発パンフレットの検証・評価作業を行いました。</p>	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、和歌山県、三重県、大阪市の近畿の地方自治体が発行するハンセン病啓発パンフレットを医学、政策、被害、当事者運動、課題提起、情報提供等の事項に関し、偏見差別の解消及び再発防止に資する内容となっているかという視点から検証しました。</li> <li>・検証結果を「ハンセン病問題啓発パンフレット～何を伝えるのか 誰に伝えるのか～」という冊子にまとめ、2011年5月11日に発行しました。発行部数3000冊。</li> <li>・同冊子を、沖縄県で行われた「ハンセン病市民学会・啓発部会」で発表するとともに、近畿府県下の全市町村、大阪府市教育委員会、福祉団体、医療関係団体、ハンセン病問題支援団体、ハンセン病回復者当事者団体等に幅広く配布しました。</li> <li>・さらに、同冊子の内容をふまえた学習会・報告会を下記のとおり開催しました。</li> </ul> <p>① 2011年10月29日 学習会          テーマ：「ハンセン病問題啓発パンフレット～何を伝えるのか誰に伝えるのか～」          場所：大阪府社会福祉会館 主催：当会          講師：宮良正吉（いちょうの会会長）、神谷誠人（当会事務局長）          参加者：50名</p> <p>② 2011年11月4日 学習会          テーマ：「ハンセン病問題啓発のあり方」          場所：鳥取市人権情報センター 主催：ハンセン病問題とともに歩む会          講師：神谷誠人（当会事務局長）          参加者：30名</p> <p>③ 2012年2月18日 ハンセン病問題講演会          テーマ「ハンセン病問題の啓発をめぐる課題」          場所：大阪市立阿倍野区民センター 主催：ハンセン病問題講演会実行委員会          講師：宮良正吉（いちょうの会会長） 大槻倫子（当会会計）          参加者：400名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿府県の自治体と啓発パンフの在り方について、話し合いの場をもっています。</li> </ul>	

<p>成果と課題</p>	<p>成果：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本冊子における問題提起を契機として、啓発パンフレットの改訂を実施したり、新規に発行を検討している地方自治体がでてきた。</li> <li>・当事者との協働作業により、偏見差別問題の中身が深まった。</li> </ul> <p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政上、ハンセン病啓発パンフレットに予算や労力を割けない自治体も多い。</li> <li>・10月に大阪・神戸で公演された「ミュージカル・ドクターサーブ」では、人権活動に関わる弁護士が中心となった企画にもかかわらず、ハンセン病問題に対する知識、理解が全く無かったため、ハンセン病患者を偏見差別的視点で演出し、多数の観客にハンセン病に対する誤った認識を植え付けるとともに、回復者を深く傷つける問題が発生した。ハンセン病問題に関する普及啓発活動が不十分であることを反省するとともに、市民の潜在意識にある疾病・障害に対する根深い偏見があることがわかり、今後、さらなる啓発・普及活動の必要性を痛感している。</li> </ul>
--------------	--

お問い合わせ先： 神谷誠人（事務局／06-6364-4000）

# ハンセン病問題啓発パンフレット

～何を伝えるのか 誰に伝えるのか～

## 学習会開催のお知らせ

今年、「らい予防法」廃止15周年、「らい予防法違憲国家賠償請求訴訟」勝訴10周年の節目の年にあたります。国は、熊本地裁判決において、長年にわたる「らい予防法」による隔離政策で回復者の人権を著しく侵害し、ハンセン病政策の被害者に多大な苦痛と苦難を与えてきたことに対して謝罪を行いました。そして、謝罪広告の掲載をはじめ、全国の中学生に対してハンセン病問題の理解に向けたパンフレットを配布すること、国民に対してハンセン病問題に対する正しい知識の啓発に努め、可能な限りの名誉の回復を行うことに最大限努めることを約束し、啓発活動を実施してきました。

現在、厚生労働省や地方自治体は、ハンセン病に対する偏見差別の解消に向けた啓発パンフレットを発行しています。しかし、いまだハンセン病回復者が、自分や家族に向けられた偏見差別に脅え、不安な生活を送らなければならない現実があります。

今回、私たち「ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会・関西実行委員会」（会員：ハンセン病回復者とその家族、医師、マスコミ・出版関係者、福祉関係者、宗教者、弁護士など）は、現在発行されている啓発パンフレットが、ハンセン病回復者に対する偏見差別を解消し、真の被害回復につながる内容を有しているのか、との問題意識から、近畿6府県（奈良県は未発行のため除く）及び大阪市が発行する啓発パンフレットを、①ハンセン病という病気について、②隔離政策について、③被害の実態について、④当事者運動について、⑤今後の課題・施策について、⑥タイトルについて、⑦相談窓口について、⑧体裁についてなどを検証するとともに、真のハンセン病問題解決につながる啓発パンフレットとしての記載例を提案し、「ハンセン病問題啓発パンフレット～何を伝えるのか 誰に伝えるのか～」を発行いたしました。

つきましては、啓発のあり方について下記の日程で学習会を開催します。ぜひご参加くださいようお願い申し上げます。

日時	2011年10月29日(土) 14時～16時
場所	大阪府社会福祉会館 5階 503号室(地図参照) (大阪市中央区谷町7丁目4-15)
参加費	無料
講師	神谷 誠人(ハンセン病国賠訴訟弁護団) ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会会員

申込・問い合わせ  
ハンセン病回復者支援センター(加藤・桑山)  
TEL:06-6711-0003  
FAX:06-6711-0012

## 2011年度コミュニティづくり協働事業 活動報告

事業名	こどもへの暴力防止プロジェクト
団体名	大阪YWCA シャロン千里こども館



日時・期間	2011年4月1日～2012年3月31日
場 所	シャロン千里こども館
規模・人数	延べおよそ250名の親子が参加。

事業の目的と協働の形態	<p>目的：「ハッピーママのリフレッシュ講座」はこどもの発達や病気に対する無理解が虐待を生む大きな要因と考え、虐待防止のために、こどもの発達成長・障害・病気について正しい知識を持つ。又講座を通じて、若いお母さん達の仲間作りとエンパワーを促進する。「レイションシップ」「ハンドインハンド」は地域での、お母さん・こども達に仲間作りの場を提供する。子育て不安等の悩みを話合うことで、精神的孤立を防ぐ。</p> <p>協働の形態：「ハッピーママのリフレッシュ講座」には同じ福祉法人の大宮保育園から毎回保育士が二名ずつ参加した。どのプログラムにも公益法人大阪YWCA からボランティアが企画・運営に関わった。</p>
-------------	---

実施内容	<p>① 「ハッピーママのリフレッシュ講座」</p> <p>10月13日 こどものこころの成長につきあう 松井洋子氏</p> <p>10月27日 ちょっとつきあいにくい子へのかかわり ～発達障害について学ぶ～ 宮井研治氏</p> <p>11月10日 未来にきれいな地球と持続可能なエネルギーを！ 許斐喜久子氏</p> <p>11月23日 暴力にさらされたこどもへの関わり ～虐待をうけたこどもの心～ 北川 拓氏</p> <p>12月13日 こどもの病気について学ぶ ～喘息を中心に～ 吉田之範氏</p> <p>1月12日 自分らしく生きる ～人とつながる・子育てを通して仲間作り～ 金香百合氏</p> <p>② 「親子でいきいきレイションシップ」</p> <p>4月5月6月7月9月10月11月12月1月2月の全10回</p> <p>ファシリテーター：松井洋子氏</p> <p>プログラム：母子でふれあい体操やダンスを楽しんだ後、母親はファシリテーターと一緒にグループワーク。こども達は保育スタッフと自由遊び。</p> <p>7月以降、母親達の自主運営で毎回夕食会を実施し、交流を深めた。</p> <p>③ 「ハンドインハンド夕食会」</p> <p>毎月2回、金曜日夕方（五時半～八時）働く母親とその子ども達に夕食とこどもには遊び場、母親にはおしゃべりの場を提供し、母子それぞれの仲間作りを支援した。</p> <p>毎回、隣接する吹田市立北千里保育園からたくさんの参加者があった。プログラムの終わりの時間には絵本の読み聞かせの時間をもった。</p>
------	--

<p>成果と課題</p>	<p>「ハッピーママのリフレッシュ講座」は、新しい知識を得るとともに、講義後のディスカッションでは、母親・支援者・ボランティアがそれぞれの立場からの意見・感想が活発にで、交流の場となった。</p> <p>「親子でいきいきリレーションシップ」「ハンドインハンド」では、お互いの具体的な子育ての悩みを率直に話し合うことで共感性が高まり気づきが深まるとともに、地域でお互いを支え合うつながりが育ちつつある。いずれのプログラムも単年度で終了させず、継続していくことが課題である。</p>
--------------	---

お問い合わせ先：大阪YWCA シャロン千里こども館 Tel 06 (6872) 0505

# ハッピーママの ハフレッッシュ講座

～明日のあなたと子どものために一緒に学びましょう～

教育・福祉・医療の専門家と、すてきな人生の先輩を迎え連続講座を行います。  
 子どもの成長や病気・環境について学び、自分の生き方を深め、豊かなこそだて  
 (子育て・己育て)のきっかけになることを願っています。

10/13 (木) 15:30~17:30

子どもの心の成長につきあう

講師：松井 洋子さん  
 [からだところの出会いの会 主宰]

11/10 (木) 10:00~12:00

自分らしく生きる①  
 ~社会とつながる・環境保護活動を通して~

講師：許斐 喜久子さん  
 [環境省認定環境カウンセラー  
 NPO 法人環境文明 21 理事]

12/13 (木) 15:00~17:00

子どもの病気について学ぶ  
 ~喘息を中心に~

講師：吉田 之範さん  
 [大阪府立呼吸器アレルギー  
 医療センター小児科]

10/27 (木) 10:00~12:00

ちょっと付き合いにくい子へのかかわり  
 ~発達障害について学ぶ~

講師：宮井 研治さん  
 (大阪市立児童院)

11/24 (木) 10:00~12:00

暴力にさらされた子どもへの関わり  
 ~虐待をうけた子どもの心~

講師：北川 拓さん  
 [大阪府池田子ども家庭  
 センター  
 地域相談課課長]

1/12 (木) 10:00~12:00

自分らしく生きる②  
 ~人とつながる・子育てを通して仲間作り~

講師：金香百合さん  
 [ホリスティック教育実践  
 研究所代表]



<場 所> シャロン千里子ども館 (吹田市古江台 3-9-3)

<定 員> 20名 (先着順)

※お母さん方だけでなく、子育てに関わるすべての方達にもご参加頂けます。

<参加費> 全参加 2000円 単発 500円

<保 育> ひとり 300円

<お申込> お電話、FAXで下記までお申込下さい。

シャロン千里子ども館 (担当：辻川)

TEL: 06-6872-0505 / FAX: 06-6872-0503

主催 大阪YWCAシャロン千里子ども館  
 協力 大阪YWCA女性エンパワメント部

～この講座は財団法人大阪府人権協会コミュニティづくり協働事業助成金を活用して行います。～

## 2011年度コミュニティづくり協働事業 活動報告

事業名	障害者の芸術文化モデル構築の為の第7回車いすダンス公演事業
団体名	ジェネシスオブエンターテイメント



日時・期間	2011年12月3日～2011年12月4日
場 所	大阪人権博物館 リバティおおさか
規模・人数	400名

事業の目的 と 協働の形態	<p><b>【目的】</b> ①障害者の新しい就労の創出②障害者の職業の領域の拡充③・障害者自身が社会へ元気や希望を届ける主体となること</p> <p><b>【協働の携帯】</b> ※順不同</p> <p>■すみよしおはなしパレット／大阪市内の小中学校で子どもたちに読み聞かせボランティアを行う団体。公演では会場整理、一時保育、受付を担当。</p> <p>■NPO 法人映像記録／映像制作のプロが地域社会に貢献する為に設立した団体。公演ではビデオ映像記録を担当。</p> <p>■ダッシュカンパニー／演出脚本を行う関西の元劇団。公演では舞台照明などを担当。</p>
実施内容	<p><b>■構成概要</b></p> <p>①出演人数：約10名前後 ジェネシスオブエンターテイメントメンバー及び、全国の車いすダンススポーツ選手権大会にて上位成績の実績を持つ車いすダンサー。</p> <p><b>■出演者詳細</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2009HKWDSA 杯北京国際車いすダンススポーツ競技大会クラスII コンビラテン3種目優勝者</li> <li>・第7回、8回、9回全日本車いすダンススポーツ選手権大会コンビラテン5種目優勝者</li> <li>・2009 車いすダンススポーツデュオスタイル大会優勝者</li> <li>・2010年世界車いすダンス選手権大会8位など、アジア各国や全国の車いすダンススポーツ競技大会においてグランプリ大会などの優勝・上位入賞者を中心に出演を予定。</li> </ul> <p>②種目演目：障害のある人とない人のペアダンス・障害のある人同士のデュオスタイル・コンテンポラリーダンスなど、多ジャンルのダンスにより構成する。</p> <p>曲目は邦楽、洋楽のポップスなど約20曲披露。</p> <p>③映像演出：写真や映像にて構成した車いすダンス出演者の日常や生活から、人間に焦点をあてたメッセービデオの上映。</p> <p>④参加型体験：車いすダンス体験や運動など来場者と共に楽しめるプログラムの構成を実施。</p> <p><b>■来場者数と入場料</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来場予定数：約550名（275名収容公演を2回実施予定）</li> <li>・入場料：有償公演として位置づけ、おとな…1000円～2000円/子ども・障害者と介助者は割引料金を設定した。</li> </ul>

<p>成果と課題</p>	<p>①有償公演にすることで、出演者の意識向上につながった。また本助成事業の意義を共有することで目的意識が明確となり、違いがある人同士では社会に何が伝えられるか再認識することができた。</p> <p>②一時保育を設ける事により、親子連れでも安心して鑑賞できる環境が整えられた。</p> <p>③従来の公演では車椅子席が不足するなど会場面において課題が見られていたが、今回障害のある人にも安心して鑑賞できる会場で公演を行うことができた。</p> <p>④中心メンバーのみが出演することで質の高いダンス技術を盛り込んだ公演内容で実施することができたが、ダンス教室との連携が薄くなってしまい、意識の共有が図ることができなかった。</p> <p>⑤従来の社交ダンスをベースにしたダンスに加え、人間の感情をテーマにしたコンテンポラリーダンスを取り入れることで、障がいのある来場者の方や、その周囲の方たちにも共感していただける公演内容を実施することができた。</p> <p>⑥今後の課題として広報計画をもっと綿密に立て、今までの枠にとらわれず興味関心のある方たちへの広報を行なっていきたい。</p>
--------------	---

お問い合わせ先：090-4030-9540（坪田） <http://www.genesis-art.com/> [genesis@genesis-art.com](mailto:genesis@genesis-art.com)

ジェネシスオブエンターテイメント

# 第7回 車いすダンス公演 ～WILL～

2011年12月3日(土)・4日(日)

だれでも 決して変わらない 変えられない 過去を抱えてる  
でも 今まで出会った たった一つが欠けても「今の私」はいなかった  
みんな 誰にも代わることのできない道を進み続けている。  
未来の世界に 未来の自分たちに 今 伝えたいこと  
この「WILL」から、そんな未来へ踏み出す一歩が生み出せれば  
本当に幸せに思います。

■主催/ジェネシスオブエンターテイメント  
■協力/サントリー労働組合すみよしおはなしパレット  
(特定非営利活動法人映像記録(ビデオ撮影))

■日時/2011年12月3日(土) 開場:18:00 開演:18:30  
4日(日) 開場:12:30 開演:13:00

※それぞれ開場時間が異なります。ご確認の上ご来場ください。

■会場/大阪人権博物館(リパティおおさか)・リパティホール HP:<http://www.libertysor.jp>

■定員/両日275名(先着順)

※車いす用の席もございますのでチケット申し込みの際にお知らせください。

※事前にチケットのお申込みができない場合にも、当日空席がある場合はご入場いただけます。

■入場料/一般:2,000円

障がいがある方とその介助者(1名のみ):各1500円

学生(高校生以下):1,000円

未就学児:無料

※未就学児につきましては保護者の方の膝の上でのご鑑賞をお願いいたします。  
お席が必要な場合は学生料金を頂きます。

■お問い合わせ・チケットお申し込み先/TEL:090-4030-9540(坪田)

FAX:072-871-0467

E-Mail:genesis@genesis-art.com

※この公演は財団法人大阪府人権協会 2011年度コミュニティづくり協働事業助成金を活用しています。

## 2011年度コミュニティづくり協働事業 活動報告

事業名	在日外国人家庭とつながろう、 「もろふく共育停留所」開設事業
団体名	在日外国人家庭もろふく共育プロジェクト



日時・期間	2011年7月1日から 2012年3月31日まで
場所	大阪府大東市諸福5丁目8-20 内田ビル2階 うさぎ保育園内
規模・人数	会員数35名・支援対象22家庭

事業の目的 と 協働の形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 認可外保育施設であるうさぎ保育園の近隣には、多くの中国人家庭が居住して子育てしているが、親の社会的・経済的な状況に加え、文化・言語の相違や誤解もあり、親子が不安や問題を抱えずに地域で暮らし育つ事のできる環境が地域には整っていない。</li> <li>● 家庭や地域社会の状況に関わらず、子どもたちに十分な育ちと文化的な暮らしを保障していくために、在日中国人子育て家庭や子どもたちの置かれている環境や様子、保育園での状況を社会化・共有化し、義務教育機関や地域社会資源とのつながりを作りながら、関わる人々がサポートし合い、地域共生や多文化交流を楽しめるコミュニティを形成していく。</li> <li>● プロジェクト（団体）の中で、サポートステーション「もろふく共育停留所」を立ち上げ、日常の保育・子育て支援の重点課題として中国人家庭支援を据え、研修や交流会の運営、関係機関との連携・協力体制を、主体的かつ継続的に形づくっていく。</li> </ul> <p><b>【協働の形態】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 通訳・翻訳協力：ワンパーパス国際学院の学生やスタッフ・うさぎ保育園保護者・中国語の分かるボランティア（パンフレット・チラシなどの作成・園便り・日々の連絡帳・各行事の通知・アンケートなどを中国語・日本語に翻訳・記録・対面通訳）</li> <li>2. 園児の発達状況・養育環境・日本語の理解度などの情報共有：各市の保育課・福祉事務所・保健士の方々など関係機関や担当行政と連携をとって必要な働きかけを行い、認可保育園や小学校への移行を円滑にする。</li> <li>3. 研修・交流会などの企画運営：ワンパーパス国際学院、自治会、当保育園保護者</li> </ol>
---------------------	---

<p>実施内容</p>	<p>① 「もろふく共育停留所」の開設      当園開設中、日本語の分からない中国人家庭の保護者と園児が安心できる場所・楽しく居心地のいい場所として過ごせるようにする。そのため、保育園からの配布物に全て中国語の翻訳をつけて理解しやすいようにし、保育園とのコミュニケーションを円滑にすることで、連絡の行き違いや誤解が起こらないようにした。(中国語訳をつけたパンフレットやチラシ等を、卒園児も含め98家族に)      行事開催時は特に留意して、通訳を介して、日時・場所・注意事項などの詳細を伝え、積極的に参加を促進した。</p> <p>② 研修・交流会の開催(月1回・第1土曜日17時から)      日本に住んでいるのになかなか日本の人と交流がもてないという声があり、中国人家庭の方が楽しみながら交流を持ち、なおかつ日本の事を知ってもらえるような研修・交流会を開催。      10月 【コモンセンス・ペアレンティング】しつけ・子育てプログラム      11月 【保護者交流会】                      12月 【子どもと一緒にエステ会】      2月 【みんなでおはぎを作ろう】</p> <p>③ コミュニティ・コーディネート活動      経済的な理由から認可保育園に入園を希望する家庭が多いため、関係機関への付き添い・手続き方法の説明・面接・説明会・健康診断時等の通訳・翻訳。      →7家族中5家族が認可保育園に入園決定。</p>
<p>成果と課題</p>	<p>行政窓口では、日常会話がある程度可能な中国人保護者への対応はするが、日本語の全く話せない保護者に対しては、ほとんど対応、受入れを行っていないのが現状である。(大東市22園認可保育園があるうち、日本語の話せない中国人家庭の子どもが入れる保育園は1園のみで、常に満員の状態)      2011年7月以降、中国人家庭は常時5～7組在籍。開業以来、2010年度迄の7年間は、行事参加者が無かったが、少しずつ参加者が増えている。      [例] 8月6日(土)夏祭り(5家庭13名が参加)      10月23日(日)発表会・運動会(6家庭22名が参加)      12月21日(水)クリスマス会(6名の園児が参加)      1月21日(土)お餅つき大会(3家庭8名が参加)</p> <p>当プロジェクトを進める中で、当園保育士のみならず、日本人保護者の理解と協力が得られることとなり、行事や日々の取り組みが円滑に進められるようになった。また、関係機関との連携も密になり、自治体にも本取り組みが周知され、協力を得られるようになってきた。認可保育所などへの移行が比較的スムーズに行えるようになり、中国人家庭への育児・就学への不安も軽減できている。次年度以降も継続して支援活動を続けていきたい。</p> <p>例年2～3月に入園希望の児童が多いが、特に中国人家庭の急な保育依頼が目立ち(2月だけで7件)、定員園児数に達している時期には、入園希望に対して十分な対応がしにくいといった課題が残る。個々の児童家庭支援に際しては、様々な課題事例を蓄積していくことにより、各自の課題や不安を軽減させ、保育の質向上と安定的な養育環境を保障するために、家庭と園、関係機関との連携や研修を強化していくことが必要である。</p>

問い合わせ先：うさぎ保育園：072-871-1407

# うさぎ保育園

## 園児大募集!!

兔子保育園 园児大招收!

**年齢: 6ヶ月～小学2年生まで**

学校が終わった後、一人でお留守番が不安な時もみんなで遊べるよ!

年齢: 6ヶ月～小学2年生 放学后小孩一个人在家不放心时来跟大家一起玩吧!

**時間: 7:30～19:00**

時間: 7:30～19:00 也针对上班早的母亲们!

出勤の早い  
お母さんにも対応!

**料金: 20,000円～40,000円/月額**

收费: 20,000日元～40,000日元/月額

一時預かりも  
OKです!!

\* 一人親・兄弟割引有り

单亲家庭・兄弟姐妹一起入园有减免

\* 送迎あり(予約制)

有接送(要预约)

\* 保育料ポイント制でお得♪

保育園有独自の积分制度很实惠!

\* お弁当注文可能(1食200円)

可以预定便当(1顿200日元)

\* 散歩・各月行事あり

每月有散步等活动

\* 英語・キッズヨガ・体操教室あり

有英语・小孩的瑜伽・体操教室

見学  
自由

可以自由参观  
立即入园也可以

# うさぎ保育園

大東市諸福5-8-20 内田ビル2F

大东市诸福5-8-20内田大楼2F

☎072-871-1407

HPで園の様子も紹介してます!  
也有通过网页介绍保育園的样子!

うさぎ保育園

検索



このチラシは財団法人大阪府人権協会から助成を受けて作成しました。

1時間体験無料券 ～ 1小时体验免费券 ～

保護者名  
家长名

住所  
地址

お子様のお名前  
小孩姓名

月齢 歳 ヶ月

## 基本理念

基本理念

### 1. 一人親サポート

第1個人支援

### 2. 第2の我が家

第2の自己の家

#### \* 自主性 — 自主性 —

一人一人の違いを知り、それぞれの自立をサポートし、温かく見守ろう！  
知道每一个人的不同，并且支援分别的独立，并且温暖地注视吧！

#### \* 他尊重 — 自己和他人尊重 —

自分自身を尊重する気持ちに、やがて他者とのつながりや関わりの中で、他者も尊重する気持ちを育もう！（セルフエスティーム）  
小心对待尊重自己的心情，并且别人也在与别人的联系以及关系中培养尊重的心情吧！（self-esteem）

#### \* さわやかな自己主張 — 积极的自我主张 —

素直に自分の気持ちを言葉に出そう。そして相手が表現する事を待つ態度も身につけよう！（アサーティブ）  
真实地把自己心情在语言拿出来吧，以及也学习等待对方表现的态度吧！（assertive）



働くお母さんを応援します！

支援工作母亲！

# うさぎ保育園

兔子保育園



子どもが安心し、落ち着ける  
そんな憩いの場所(第2の我が家)です。  
子育てを楽しみながら、やってみませんか？

小孩放心,并且能安稳

是那样的休息的地方(第2的自己的家),  
培养孩子,并且虽然快快乐乐可是不是试试吗?



## うさぎ保育園

兔子保育園

大東市諸福5-8-20 内田ビル2F

大東市東通5-8-20の内田ビル2F

TEL 072-871-1407

FAX 072-871-1407

HPで働くお母さんも応援しています！  
HPで働くお母さんも応援しています！  
兔子保育園(兔子保育園)

お預りに  
お預り下さい！  
请自由咨询！



このリーフレットは財団法人大阪府人権協会から助成を受けて作成しました。

お手伝い(ボランティア)して下さる方大募集!

大東市第一方面会(义工)招募!

# 安心・清潔・快適な第2の我が家です。

アットホームな環境で、きめ細やかな保育。

子どもたちを育み、大切な思い出作りをお手伝いします。



四季折々の行事やお誕生日会など、家庭的な保育園だからこそ出来るきめ細かい保育を致します。

经常的仪式或四季的生日会正因为是家庭式保育園才举办增长经验的保育。



- \* 散歩・各月行事あり  
毎月有散歩等活动
- \* 英語教室(週1回)  
英語教室(1回-1星期)
- \* キッズヨガ教室  
小孩的瑜伽
- \* 月1回スポーツクラブへの体操教室  
到1回一个月的体育活动俱乐部的体操教室
- \* 就学前学習あり  
有在就学之前的学习

**即入园 OK!!**

立刻能进幼儿园。

**見学自由**

可以自由参观  
立即入园也可以

**楽しいお餅つき**

快乐的捣年糕



**地域活動への参加の機会を作り、保護者間だけでなく、地域交流すること。**

**地域福祉力の増進に寄与しています。**

提供参加活动的参加的机会,并且,不仅限于保护者之间,为增加地区福祉能力做出贡献。

**キッズ・ヨガ教室**

小孩的瑜伽



**近くの公園にお散歩**

在附近的公园散步

**一時預かりもOKです!!**

**年齢:6ヶ月~小学2年生まで**  
学校が終わった後、一人でお留守番が不安な時もみんなまで遊べるよ!

年齢:6个月~小学2年生 放学后小孩一个人在家不安心时请带大家一起玩耍吧!

**時間:7:30~19:00**

时间:7:30~19:00 针对上班早的妈妈们!

**料金:20,000円~40,000円/月額**

收费:20,000日元~40,000日元/月薪

## サポート制度

~支援制度~

- \* **一人親・兄弟割引**  
单亲家庭・兄弟姐妹一起入园有减免
- \* **登校園自由**  
上学园自由
- \* **保育料ポイント制(お得)**  
保育园有独自の积分制度很实惠!
- \* **送迎あり(予約制)**  
有接送(要预约)
- \* **お弁当注文可能(1食200円)**  
可以预定便当(1顿200日元)

- **仕事に安心して打ち込みたい**  
在工作放心,想继续进去
- **急用ができてしまった**  
急事作奸
- **集団生活に早く慣れさせたい**  
想让集体生活早早适应
- **体調が悪く、子どもを保育できない**  
身体不佳,并且不能看护小孩
- **様々な経験をさせたい……など**  
想让做各种各样的经验……等

私たちは、保護者の様々な事情で、子どもを保育できない場合に子どもたちに健全な遊びと学習環境を提供し、保育スタッフ配置のもとに安全で自立的な生活の場を提供しています。

我们在不能由于保护的等各种各样的情形看护小孩的时候,提供游戏和健全的学习环境对小孩们,并且是安全,并且正在保育职员配置下提供独立性的生活的地方。

## 2011年度コミュニティづくり協働事業 活動報告

事業名	非行の子どもたちの社会参加のために～居場所の必要性と次への一步事業～
団体名	NPO 法人関西こども文化協会



日時・期間	2011年4月1日～2012年3月31
場 所	大阪NPOプラザ / 大阪府私学教育会館
規模・人数	事業協力者25名 / イベント参加者94名

事業の目的 と 協働の形態	<p><u>非行の子どもをもつ親たちの会「陽だまりの会」開催。</u> 当事者同士が安心してお互いの悩みを共有し、子どもの身近な支援者は親として親だからできることや親のこれからなど、親のエンパワメントに繋げる。 親の日常的な相談と子どものサポートとして青少年自立支援団体(富田ふれ愛義塾・NPO 法人セカンドチャンス!)に依頼し、専門的立場から元家裁調査官(廣井いずみ氏)、教員(福井司氏)のアドバイスを依頼した。</p> <p><u>「陽だまりの会」運営会議開催。</u> 親の会のあり方や今後の方向性、親の会全体をサポートする体制づくり、また、親の会に参加している親の悩みにどの様に対応するか、子どもをどのようにサポートして行くか、など検討した。</p> <p>親の会の有り方や方向性を元家裁調査官(廣井いずみ氏)、教員(福井司氏)、教育研究者(森田次朗氏)、青少年自立支援団体(富田ふれ愛義塾・NPO 法人セカンドチャンス!)、不登校や閉じこもり・非行問題サポート団体(NPO 法人ストレスカウンセリングセンター)、体親の会担当者(米谷智世子氏)で検討した。</p> <p><u>イベント開催に向けての企画会議開催。</u> 非行問題と不登校が共通である【学校】をテーマに、フリースクールみなも、北星学園余市高等学校、に協力依頼し、開催に向けて検討した。</p> <p><u>イベント、～『非行』と『不登校』学校をとり巻く環境と子どもたちのことを考えるフォーラム～開催</u> 高校中退者や非行、不登校などの経験を持つ子どもたちの居場所として、学校をテーマに人とつながることの大切さ、居場所の必要性と、社会への参加・参画への道筋を考える。</p> <p><u>講演講師</u>として千代田短期大学学長(廣木克行氏)、<u>シンポジウムコーディネータ</u>として和歌山大学教育学部教授学長補佐(松浦善満氏)、<u>シンポジスト</u>として北星学園余市高等学校校長(安河内敏氏)、元定時制教師(森ひとみ氏)、NPO 法人セカンドチャンス!(野田詠氏)が参加した。</p> <p><u>不登校・非行問題の団体紹介出展ブース</u>に、あべの不登校児・軽度発達障害支援グループ「スペースゆう、志塾フリースクール、ギャロップ、のびのび志塾フリースクール、志塾フリースクール「ラヴニール」、西宮サドベリースクール、近畿自由学院、NPO 法人非行克服センター、フジゼミ、NPO 法人 DYS、奈良つきあかりの会(親の会)など参加</p>
---------------------	--

実施内容	<p><b>1. 「非行の子どもの社会的自立をめざした[陽だまりの会] (親の会) 」開催</b>  開催日時：毎月第1土曜日、14：00～17：00  (2011年 4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月)  場所：NPO プラザ  参加者平均人数：10名  参加者：非行の子どもをもつ親／元家裁調査官(廣井氏)／NPO 法人セカンドチャンス!(野田氏)  内容：当事者同士でお互いの悩みを共有し、子どもの将来や親自身のこれからを話あう。また、自分自身の価値観の変化を尊重しあう場。</p>
	<p><b>2. 「陽だまりの会(親の会)運営会議」開催。</b>  開催日時：10月6日(木)・10月20日(木)・11月17日(木)・12月5日(木)・1月26日・2月16日(木)・3月29日(木:予定) 19:00～21:00  参加者：元家裁調査官(廣井氏)、教育研究者(森田氏)、教員(福井氏)、青少年自立支援団体(富田ふれ愛義塾、NPO 法人セカンドチャンス!)、不登校や閉じこもり・非行問題サポート団体(NPO 法人ストレスカウンセリングセンター)、親の会担当(米谷氏)  親の会のあり方や今後の方向性、親の会全体をサポートする体制作り、また、親の会に参加している親の悩みにどう対応出来るかを検討した。</p>
	<p><b>3. イベント開催に向けての企画会議を開催</b>  開催日：5月・6月・8月・9月・12月・1月・2月・3月  場所：NPO プラザ、フリースクールみなも  「非行」「不登校」の共通のテーマである学校を取り上げ、子どもの気持ちや親の想いをイベントでどう表現して行くか?さまざまな学校や支援団体の個性や特徴をいかに引き出すかを検討した。</p>
	<p><b>4. 『不登校』と『非行』学校をとり巻く環境と子どもたちのことを考える一日限りのフォーラム 開催</b>  日時：2012年3月10日 10：00～15：30  場所：大阪府私学教育文化会館(私学会館)  参加者人数：93名  ① 映画「月あかりの下で」～ある定時制の記憶～  (催時間：1回目 10：00～12：00/2回目 13：00～15:00 )  かつて学校に居場所がなかった子どもが、居場所として求めたところは学校だった。ある定時制高校で学ぶ生徒たちの姿を入学から卒業までの4年間を追い続けたドキュメント映画。  ② 講演「学校 - 親の期待と子どもの気持ち」  (講師：廣木克行氏：大阪千代田短期大学学長)  (開催時間：13：00～15：00)  自分自身を隠し、学校でのキャラを作りする子どもの現状や、少年院にいる子どもから親への手紙の事例など、現代の子どもの学校事情や親子関係を社会の問題と捉え、親も勉強する必要がある、と語る。  ③ シンポジウム 学校をとり巻く環境と子どもたちのことを考える。  (開催時間 15：30～17：30)  コーディネータ：松浦満善 (和歌山大学教育学部教授学長補佐)  シンポジスト：安河内敏 (北星学園余市高等学校校長)</p>

	<p>森ひとみ（元定時制高校教員）／ 野田詠氏：チェンジングホーム施設長）          全国から集まる年齢や出身地の異なる生徒たちの約6割は不登校経験者で、集団教育と自分らしさを大切にしている北星学園余市高等学校、一方では、校則に背いた生徒を排除する方向の定時制高校、定時制高校在学中に少年院に入り、退学をした当事者の話しなど、学校を通して子どもたち事情を垣間見ることができた。</p> <p>④ 不登校・非行問題の団体紹介出展ブース          出展・展示団体数：19 団体          不登校・非行の子どもの支援団体を紹介。既存の理念にとらわれないそれぞれの団体の特徴・個性を生かした多種多様な事業紹介ができた。</p>
<p>成果と課題</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親の会が専門家やサポート団体に繋がることで、当事者が抱える問題に対して子どもに合った柔軟なサポートが早期にできる。</li> <li>・関係機関・団体との連携を強化するとともに、協働の輪を広げる取組ができた。</li> <li>・非行と不登校問題を横並びにしたイベントを開催したことで、子どもの行動の原点に共通する課題を見出すことができた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中卒や高校を中退した子どもの安全な就労場所が少なく、非行の子どもにとっては就労場所が居場所となる場合があるので、早急に地域に密着した就労支援体制を考える必要がある。</li> <li>・非行の子どもの親は外部社会（地域、学校、警察、メディア）から非難され地域社会でも孤立しやすいため、悩みを周囲に相談できずに抱えこみがちであり、親に対する支援体制は未整備である。</li> </ul>

お問い合わせ先：NPO 法人関西子ども文化協会／tel：06-6460-1621



関西こども文化協会

特定非営利活動(NPO)法人



「不登校」と「非行」  
学校をとり巻く環境を  
子どもたちの心と身体を  
目限りのフォーラム

日時 2012年3月10日(土) 10:00~17:00

場所 大阪府私学教育文化会館(私学会館) 〒534-0026 大阪市都島区網島町6-20

対象 保護者・当事者・教師・関係機関の職員・子育てに関わるNPO

参加費 1日/1,500円 半日/1,000円 学生/500円(一律)

主催 NPO法人関西こども文化協会・NPO法人フリースクールみなも・北星学園余市高等学校

特典 参加者には「不登校のためのハンドブック」を無料進呈。その他関係団体資料も入手できます。



「不登校」と「非行」  
 学校をとり巻く環境と  
 子どもたちの心とを考える  
 1日限りのフォーラム

「学校へ行きたいのに行けない」「なぜ、学校に受け入れてもらえないのだろう？」  
 “私”という存在を受け入れてくれる場所を学校に求めたい、でも求められない。  
 そんな思いを持つ親子は多いのではないのでしょうか。  
 このフォーラムでは、“私”を受け入れてくれる場所としての学校を考えてみたいと思います。  
 “学校”はあなたがイメージする「学校」だけではないはずです。

日時 2012年3月10日(土) 10:00—17:30  
 場所 大阪府私学教育文化会館(私学会館)  
 〒534-0026 大阪市都島区網島町6-20  
 対象 保護者・当事者・教師・関係機関の職員・  
 子育てに関わるNPO

参加費 1日/1,500円 半日/1,000円  
 学生/500円(一律)

主催 NPO 法人関西子ども文化協会  
 NPO 法人フリースクールみなも  
 北星学園余市高等学校

助成金 財団法人 大阪府人権協会 コミュニティづくり協働事業助成金(非行問題)  
 大阪ガスグループ“小さな灯”運動「子ども支援市民活動 助成プログラム」(不登校問題)



●JR 東高橋(大阪城本線)3番出口より徒歩2分  
 ●地下鉄(京橋-大阪ビジネスパーク・天満橋)  
 ●京阪(京橋・天満橋)

■内容およびタイムテーブル(受付4F)

(1日参加者) 映画鑑賞 → 不登校・非行問題展示 → 不登校講演 → 不登校・非行問題展示 → シンポジウム

(半日参加者(2コース)) A/ 映画鑑賞 → 不登校・非行問題展示 → シンポジウム

B/ 不登校講演 → 不登校・非行問題展示 → シンポジウム

	蘭の間(4F)	講堂(5F)	403号室(4F) 常備展示
10:00	10:00▶12:00 映画鑑賞(50名) 「月あかりの下で」上映 ある定時制高校の記録。かつて学校で夢をつぶされて後から、再びその夢を語る事ができた場所…それは(学校)だった。		10:00▶16:30 展示 不登校展示・非行問題展示 不登校・歩行の子どもの支援団体、既存の概念にとらわれない新しい教育を目指す団体を紹介します。
11:00			
12:00		12:00▶13:00 昼食	
13:00	13:00▶15:00 映画鑑賞(50名) 「月あかりの下で」上映 ある定時制高校の記録。かつて学校で夢をつぶされて後から、再びその夢を語る事ができた場所…それは(学校)だった。	13:00▶15:00 不登校講演(80名) 学校・親の期待と子どもの気持ち (講師) 廣木克之氏/大阪千代田短期大学学長 子どもはなぜ学校へ行かないのか、子どもが、親が、真に教育に望むものは何なのか。不登校の視点から“学校”を見つめ直します。	【不登校問題】 (出展団体) NPO 法人 志鷗フリースクール/NPO 法人 フリースクールみなも/近畿自由学院/志鷗フリースクール「ラヴニール」/キヤロップのびのび志鷗フリースクール/桔空間(資料展示団体) 子育て・不登校支援ネットワークロード/NPO 法人 箕面こどもの森学園/フリースクールフォロ(NPO 法人)/関西高等学園/あべの不登校支援グループ「スペースゆう」/NPO 法人 みらいず その他
14:00		15:00▶15:30 休憩	
15:00		15:30▶17:30 シンポジウム(80名) 学校をとり巻く環境と子どもたちのことを考える(コーディネータ) 松浦善満氏/和歌山大学教育学部教授(学長補佐) (シンポジスト) 安河内敏氏/北星学園余市高等学校校長 森ひとみ氏/元定時制高校教員 野田詠氏氏/和歌山県立大学施設長 アダムキリスト教会牧師 学校で自分を上手く表現できない、素直になれない、勉強をすることが出来ない…そんな子どもが夢や希望を抱え、〈自分らしい学校スタイル〉を見つけれよう、一緒に考えてみませんか。	【非行問題】 (資料展示団体) DYS/フジゼミ/富田ふれ愛義塾/非行の子どもの社会的自立をめざして「開だまりの会」(親の会)/「非行」と向き合う親たちの会 奈良つきあかりの会 その他
16:00			
17:00			

■申込み・お問合せ

参加の申込みは電話・ファックス・メールにて受け付けています。

TEL/06-6460-1621 FAX/06-6460-1628  
 office@kansaikodomo.com

関西子ども文化協会  
 特定非営利活動(NPO)法人

〒553-0006 大阪市福島区吉野4-29-20 大阪 NPO プラザ 207

※必要事項を下記欄に記入の上、お申し込みください。1団体で複数人申し込みの場合も本用紙コピーの上、別々に送付してください。

→ FAX 06(6460)1628

申込書	(ふりがな) 参加者氏名	(ふりがな) 所属(団体・法人名等)	
	ご住所	お電話番号	FAX 番号

※ご記入いただいた個人情報は、本フォーラムの目的の範囲外には使用いたしません。

2011年度 コミュニティづくり協働事業助成金 事業報告

事業名	児童養護施設で育つ子ども若者の交流および対話・エンパワメント事業
団体名	Children's Views & Voices (CVV)



日時・期間	2011年4月～2011年3月
場所	児童養護施設、eトコ、その他
規模・人数	みんなの会:施設の中高生のべ54名+スタッフ でまえいっちょー:2施設の中高生各1~4名+スタッフ7名/回(月2~5回)

協働の形態	<u>eトコ/ウリハウス</u> 東成区の地域拠点。近隣の小中学生や大人が交流する場。みんなの会(一部)や一時育児ボランティアを行う。近隣の小中学生が見に来る。今年度はともに大掃除・忘年会等を行った。 <u>大阪府の児童養護施設(2カ所)</u> でまえいっちょーを試行的に実施。
-------	---

実施経過 及び 実施内容	<p><b>【みんなの会(交流及び社会経験事業)】</b></p> <p>1、2ヵ月に1回、施設の中高生対象にお泊り会・交流会・ワークショップ・スポーツなどを行い、退所後にもつながりを持てる関係性を築くことを期待すると共に自立に向けての知識及び経験を得る。</p> <p>5/15 スポーツ(交流) 7/10 進路についてのワークショップ(大学及び就職について) 7/16 常盤短期大学オープンキャンパスに同伴参加 7/17 桃山学院大学同上 7/24 近畿大学同上 7/31 大阪総合保育大学同上 9/2 ボーリング大会(特別に施設職員も参加) 10/29・30 お泊り会(自炊、スポーツ、ワークショップ等) 12/29eトコ大掃除&amp;忘年会 1/22 自立支援ワークショップ(冠婚葬祭について学ぶ) 2/26 卒業生を祝う会</p> <p><b>【でまえいっちょー】</b></p> <p>施設で育った当事者スタッフが、施設訪問し、施設の中高生の声・つぶやきを聴く事業。互いの自尊感情をケアして高めていく。料理教室・社会見学、育児経験等、大人の当事者スタッフという一つのモデルと密な関係を持ちながら、外出その他の社会経験の場を得ることで、思いを表出して整理したり、自信を取り戻し、将来への希望を見出すなど、中高生側のエンパワメントと、そのような働きかけを通じて当事者スタッフもエンパワメントされるという相互エンパワメントの場とすることをめざす。</p> <p>① 施設訪問し、施設の中高生各回1~4名と交流。「茶話会」を行う。→つぶやき・ニーズひろい。ピアカウンセリング機能あり。</p> <p>② 社会体験(プラネタリウムや記念館等訪問、eトコ宿泊、料理教室、着付け、作法マナープチ講座など)→自己実現。エンパワメント。</p> <p>③ 月1回(計6回)、施設高校生が一時保育を担う。→自信。エンパワメント。対人スキル。</p>
--------------------	---

成果と課題	<p><b>【みんなの会】</b></p> <p>①成果</p> <p>いろいろな場所で実施することで中高生が電車の乗り方等を学ぶ機会となった。大学訪問により参加した高校生が大学進学を決意し、他団体(ARCH)の学習支援にもつなげることができ、大学受験合格という人生の選択の幅を広げる結果を得</p>
-------	--

た。

スポーツやワークショップ等を通じ、楽しみながら人間関係や社会での必要な知識を学ぶ機会となった。スタッフと中高生とのつながりができ、退所後のアフターフォローにつなげる第一歩となった。

## ②課題

- ・多くの施設について、施設の中高生に、間接的にでもみんなの会を周知する機会がない。
- ・より多くの施設から多数の中高生に参加してもらえるよう、施設への誤解を解き、理解を得るための事前説明を丁寧に行うとともに、可能な範囲で当日の様子を施設に対しフィードバックする努力が必要である。
- ・相当数のリピータもいるが、子どもがまた来たいと思えるような場作りをより推進していくことが大切である。

【でまえいっちょー】

## ①成果

施設訪問に当事者スタッフに関わることで、リアルな声が出やすくなり、一緒に課題解決に向けて取り組めた。社会経験では、これまでほとんど経験のない「料理」を実施。当初は「イヤ」「できない」と言う中高生が、「楽しい」「やったらできる」に変わっていった。また「こういうことがしたい」という声が自然と出るようになった。対人関係・進学・就職等の相談を受けることが増えた。仕事未経験の子どもが、一時保育の仕事をしたことで自信がつき、バイトの申し込みを希望するに至った。

## ②課題

- ・子どもから表出される悩みや課題にどこまで対応できるのかが課題。個別に寄り添う大人が必要ということはよく分かった。
- ・子どもからの施設に関する悩みや課題をどう扱い、どう対応するかが難しい。施設と対峙してでも問題を解決したいとの思いと事業継続のための施設との信頼関係維持の要請とをどう折り合いをつけ、両立させるかが課題。
- ・社会経験の場が乏しいため、いろいろな人、モノ、コトに関わる必要性は痛感するが、子どもがあきらめ感を持っている中でいかに動機づけしていくかが課題。
- ・子どもの退所後（将来）のイメージが乏しい中で、もっと頻度をあげ、じっくり取り組む必要があるが、スタッフは専従でないため困難が伴う。
- ・予算は多くはかからないが、助成金や補助金等の一定の安定した資金がないと実現困難。

お問い合わせ先 : 06-6130-2930 (森本)

## 人権のコミュニティづくり

—2011年度コミュニティづくり協働事業報告書—

.....

2012年5月31日

財団法人大阪府人権協会

〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル (AIAI<sup>あいあい</sup>おおさか) 8階

TEL. 06-6581-8613 FAX. 06-6581-8614

<http://www.jinken-osaka.jp/> [info@jinken-osaka.jp](mailto:info@jinken-osaka.jp)